

生きる力の育成

「豊かな心」と「健やかな体」の育成をめざした

学校・家庭・地域の連携

岩国市立御庄中学校 PTA

1 学校地域の概要

P T A 会 長 : 中村 知眞
文化体育後援会長 : 野村 克彦
学 校 長 : 神村 信男
生 徒 数 : 15人
家 庭 数 : 15世帯
教 職 員 数 : 8人
所 在 地 : 〒741-0083 岩国市御庄 2027 番地-2

TEL 0827-46-0013 FAX 0827-46-0411

U R L : <http://www.msj.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/>

E-mail : mishou_c@city.iwakuni.lg.jp



(1) 地域の特色

御庄地区は岩国市の中心部から約10km西部にある自然豊かでのどかな地域である。しかし、地区内には山陽新幹線新岩国駅や錦川清流鉄道清流新岩国駅、山陽自動車道岩国インターチェンジなどが通り、近年は交通の要衝としても発展してきた。古い歴史をもつとともに、岩国市の西の玄関口としての顔もある。

地域の教育への関心は高く、地域をあげて青少年の健全育成に取り組む風土がある。学校に対しても大変協力的であり、地区の関係機関との連携が取りやすい。温かい地域の方々に見守られながら、生徒たちは元気に明るく家庭生活や学校生活を送っている。

(2) 学校の特色

地区内には、1幼稚園、1小学校、1中学校（本校）がある。校種間の交流や連携を深めながら、地域に根ざした教育を進めている。保護者や祖父母たちも本校の同窓生であるという生徒が少なくない。そのため、学校に対する理解や協力体制は得やすい。

今年度末で休校するため3年生15名しかいないが、豊かな心と健やかな体を育むために、様々な体験活動に取り組んでいる。また、一人ひとりの生徒に活躍の場があり、一人が何役もの責任を果たすなかで、生徒は成長しており、家庭、地域、教職員がそれを支えている。

(3) 学校の目標

- 校 訓 : 自主・協調・創造
- 学校教育目標 : 人間性豊かで、気づき、考え、行動する生徒の育成
- めざす学校像 : *ひとやものごとに感動し、喜びを感じる活力のある学校
*一人ひとりの夢を実現できる、楽しくて行きたい学校
*家庭、地域と連携し、開かれた学校
- めざす生徒像 : *3つの気(元気、やる気、根気)がある生徒
*基礎、基本の学力を身に付け、社会の変化に主体的に対応できる生徒
*自分の思いを表現し、周囲を思いやる実践ができる生徒
- めざす教師像 : *率先垂範・師弟同行に努める教師
*指導力と実践力の向上に努める教師
*全教職員が協働し、生徒・保護者・地域から信頼される教師
- チャレンジ目標:【生徒】○気持ちの良いあいさつを積極的にしよう
○みんなを思いやる言動をしよう
○黙動、協働で清掃しよう
【教職員】○みんなのためにみんなでやろう

2 PTA・文化体育後援会の組織図

組 織	構 成 員	主な活動内容
PTA・文体総会	全会員	
総務委員会	PTA 会長・副会長(研修部長、 補導部長、女性の会代表) 文化体育後援会長・副会長 学校長	PTA・文化体育後援会の活動及び行事等の企画・運営 家庭教育学級への協力
拡大総務委員会	総務委員 学級委員 学校長	各部の活動への協力 PTA 新聞の作成
各 部 会	研修部(学級委員)	PTA 新聞「しらさぎ」発行 文化祭での昼食バザー等
	補導部(地区委員)	小中合同体育祭での交通安全指導 文化祭での校内警備 御庄地区生徒指導推進協議会出席 環境整備
	女性の会	文化祭昼食バザーの企画 女性代表の会研修会参加

役員会	PTA・文体会長、副会長 学級委員 地区委員 学校長	PTA・文体の活動への協力 学校行事への参加・協力 学校安全ボランティア活動 環境整備
監査	監査委員は3年学級委員が 兼務	会計監査及び報告
PTA・文体事務局	教頭	各部会等との連絡・調整

3 研究主題について

「豊かな心」と「健やかな体」の育成をめざした学校・家庭・地域の連携

現在、いじめ等が大きな社会問題となっている。このことは、子どもたちの心が育っていないことが原因の一つとして考えられる。また、この厳しい社会を自分の力で生き抜くためには、健康であることも必要である。そのため、生徒の「豊かな心」と「健やかな体」の育成をめざしていかなければならないと考え、この研究主題を設定した。

本校は今年度末で休校するため、3年生のみであり、生徒のほとんどが幼稚園、小学校、中学校と同じメンバーで進学してきている。また、体育祭を小中合同で行ったり、学校施設を小中で共有したりしており、児童生徒の交流をとおして小中連携が図られている。生徒たちは、性別や校種を問わず誰とでも親しく接しながらのびのびと学校生活を送っている。素朴で明るく、どのような活動にも一生懸命取り組む反面、固定されがちな人間関係の中で、相手を思いやる言動や主体的に課題を解決していこうとする力の育成が課題でもある。

保護者はもちろん地域の方々の学校教育への関心は高く、地域の関係機関との協力体制は整っている。生徒数及び家庭数の減少に伴い、学校が充実した教育活動を進めるためには、保護者や地域との連携や協力体制を一層強化していく必要がある。学校への理解や協力を得るためには、まず学校の実態や取組をしっかりと伝えることが第一歩である。また、生徒数や教職員数の減少に伴い行事等も減少縮小するのではないかとという保護者や地域の不安を解消することも必要である。そのため、学校からの情報発信を充実させて学校をしっかりと開き保護者や地域の方々の意見を聞いたり、資金面などで協力を得たりしながら、その上で保護者や地域との連携を深めるための取組を進めることが必要であると考えた。

そこで、これまでの取組を見直しながら、「豊かな心」と「健やかな体」を育むために、さまざまな体験学習を実施し、保護者とのコミュニケーションをいろいろな形で更に密にしたり、学校の教育活動へ保護者や地域の方の参加を呼びかけたり、地域の教育力を活用したりすることによって、学校と家庭と地域との連携協力をさらに強め、子どもたちの健全育成を図りたい。

このたび山口県 PTA 連合会の研究指定を受けたことを契機として、「豊かな心と健やかな体の育成をめざした学校・家庭・地域との連携」のあり方について、さらに研究を深め、実践をとおして成果のあるものにしていきたいと考え、少人数の利点も活かし、協働の場を多く設定しこの研究主題に取り組むこととした。

4 活動内容

(1) 公民館との共催による「家庭教育学級」

今年度も昨年度同様2回実施し、保護者や地域の方の積極的な参加を公民館だよりも積極的に呼びかけた。

①第1回目 平成25年5月10日(金)

『心も体もリラックス ～グループエンカウンターを体験しましょう～』

講師：御庄中学校スクールカウンセラー(S.C)

内容：学校公開最終日に、本校S.Cの菅高志先生の指導によりグループエンカウンターの活動を行った。その様子を保護者も参観した。生徒たちは、ほとんどが幼小中と同一のメンバーで育っているが、活動をとおして改めてお互いのよさや協力の大切さを学んだ。

そのあと、保護者と教職員に対しても、同じく菅先生を講師として、エンカウンターを実施した。5名の保護者が参加され、教職員と一緒に和やかな雰囲気の中で“自分に優しくほっとひといき”リラックスの時間を過ごした。

この活動は、生徒や保護者とS.C、また教職員との人間関係づくりにも大いに役立ち、その後の効果的な教育相談にもつながった。



相手を信じて



日頃の疲れを互いにほぐし・・・

②第2回目 平成25年6月21日(金)

『みんなの質問に答えます』

講師：いわくにカイロプラクティック 水口 淑愛 先生

内容：骨や関節・姿勢に関すること、また、筋肉・筋肉痛やストレッチについて研修を実施した。

生徒たちが日頃疑問を感じたり、不安に思ったりしていることを質問項目にまとめ、それをもとに講師の水口先生に講演や実技を行っていただいた。

また、直接講師に質問をしたり、アドバイスをいただいたりもした。保護者も生徒と一緒に、講演を聴いたりストレッチを行ったりした。講師の水口先生から、生徒や保護者と健康や身体のことについて直接話ができたとのことがよかったとの評価をいただいた。



(2) 保護者と合同で実施した「情報モラル研修会」

山口県ケータイ教室を利用して、KDDIによる「情報モラル研修会」を生徒と保護者対象で、2回目の家庭教育学級と同じ日に実施した。

『情報モラル研修会（KDDIケータイ教室）』

日時：平成25年6月21日（金）

講師：KDDIケータイ教室認定講師

内容：携帯電話やスマートフォンを使ったメール等のトラブルが本校でも起きている。そこで、次のことを目的に研修会を実施した。

〈目的〉

- ・携帯電話を使用する上で必要なルールやマナー、トラブルへの対処方法及び、防犯や安全に役立つ使い方などを学習する。
- ・フィルタリングや家庭でのルールづくり等、保護者として知っておいてもらいたい携帯電話の安全な使い方を解説する。

KDDIケータイ教室認定講師が、スライド資料や映像教材を使用しながら、時にはクイズも交えながら「盗まれちゃった個人情報」「ネットいじめはダメ!」「写真アップでばれちゃった。」などの内容についてわかりやすく話をされた。生徒や保護者、教職員ともに真剣に話を聞いていた。生徒と保護者が一緒に研修をすることで、家庭でも携帯電話やスマートフォンの使い方について話をするきっかけとなった。



DVDでわかりやすく



親子で研修中

(3) 「豊かな心」と「健やかな体」を育てる体験活動の取組

「豊かな心」と「健やかな体」を育てるために、様々な体験活動を行った。保護者も、交通費など金銭的な面で協力したり、一緒に参加したりした。次に、体験活動の中からいくつかを紹介をする。

①野外観察自然教室（柱島） 平成25年6月27日～28日

岩国市の離島、柱島において1泊2日で実施した。一緒に行った祖生東小学校の3年生から6年生の児童と力を合わせて地引き網をひき、協力することの大切さを学んだ。また、地元の方ともふれ合い、魚のさばき方を教えて頂いたりバーベキューや地引き網などいろいろとお世話をさせていただいたりした。



【地引き網】 みんなで力を合わせて



たくさんの魚が捕れました。

②学力向上合宿（光スポーツ交流村） 平成 25 年 8 月 29 日～30 日

夏休みの終わりに 1 泊 2 日で実施した。1 日目と 2 日目の午前中はひたすら学習に励んだ。友だちと寝食を共にして、互いに励まし合いながら長時間の学習をやりきった。また、2 日目の午後からはマリンスポーツを計画していたが、残念ながら悪天候のため中止になり、実習に来ていた大学生と体育館でスポーツを楽しんだ。



ひたすら学習！

③キャンパス見学・美術鑑賞教室

保護者の希望者も一緒に参加し、9 月 4 日に実施した。午前中は、広島大学西条キャンパスを見学した。広島大学の学部や大学生活などについて説明を受けたあと、学生のキャンパスガイドに学内を案内してもらった。生徒は、積極的に大学生活について質問していた。昼食は、大学生に混じり学食で食べた。そのあと広島大学総合博物館を学芸員に詳しく解説してもらいながら見学した。



大学生活に興味津々！



とても広いキャンパスでした。



学食で大学生気分を味わいました。



広島大学総合博物館にて

午後からは、広島県立美術館へ行き、まず、学芸員に解説をしてもらいながらピース・ミーツ・アート！展を鑑賞した。そのあとゴッホ展を自由に鑑賞した。



(4) 保護者や地域の方々との連携、協力による取組

①文化祭 平成25年10月19日(土)

今年度は、出演者が3年生15名だけなので寂しい文化祭になるのではと心配していたが、多くの保護者や地域の方々が来校されにぎやかなものとなった。

また、昼食時には生徒が楽しみにしている保護者によるバザーも、例年通り実施された。PTA 総務委員OBの方もわざわざ手伝いに来て下さった。保護者は和気あいあいと販売され、バザーの売れ行きも好調で、生徒も語らいながら楽しく食事をしていった。

エンディングでは、生徒及び教職員と保護者や地域の方々全員参加で、一緒に「ふるさと」と「校歌」を合唱した。四季折々の御庄中学校や御庄地区、また生徒の学校生活の映像を見ながら歌い、とても感動的であった。

後片づけも、保護者の協力によりあっという間に終わった。保護者や地域の方々のおかげで、生徒にとっては充実した思い出に残る1日となった。



観客もクイズに参加



展示会場



【昼食バザー】



焼き鳥はあっという間に完売！



エンディングで合唱

②弦楽器と金管楽器による演奏会 平成 25 年 11 月 11 日 (月)

御庄中学校で何か思い出に残る行事をとのことで、シンフォニア岩国をはじめ様々な方の働きかけにより、本校講堂で弦楽器と金管楽器による演奏会が、開かれた。生で演奏が聴けるよい機会なので、保護者や地域の方々にも案内をして演奏会に参加してもらおうことにした。

当日は、保護者や地域の方々などが40名も来校され、生徒と一緒に演奏会を楽しまれた。生徒は、間近で生演奏を聴き、本物の芸術にふれてとても感動した様子だった。演奏会の途中では、生徒が指揮者体験をする場面もあり、たいへん盛り上がった。

また、アンコールは、弦楽器と金管楽器とピアノの豪華な伴奏で、会場のみんなで校歌を歌いとともよい思い出となった。

演奏者と曲目は次のとおりである。

- ★演奏者：田中雅弘さん（東京都交響楽団首席チェロ奏者）
- 吉岡麻貴子さん（東京都交響楽団第1ヴァイオリン副主席奏者）
- 山下千佳さん（ピアノ）
- 東京メトロポリタン・プラス・クインテットのみなさん

- ★曲 目：サラサーテ：ティゴイネルワイゼン
- ハイドン：ジプシートリオ
- スーザ：ワシントンポストマーチ
- すぎやまこういち：ドラゴンクエスト・メドレー・マーチ
- アメリカ民謡：聖者の行進 他



弦楽器の美しい響きにうっとり～



金管楽器の迫力ある演奏



初めての指揮者体験「楽しかった！」



アンコールは全員で校歌♪

5 成果と課題

今年度末で休校するため、生徒は3年生15名のみで後輩もいない。それに伴い PTA の会員数も少なくなった。このような状況ではあるが、生徒に寂しい思いをさせることなく、また生徒の「生きる力」を育て「豊かな心」と「健やかな体」の育成をめざすためには、学校だけではなく家庭や地域との連携のもとで生徒を育て様々な活動を行う必要があると考え研究に取り組んだ。これまでの取組を振り返ると、次のような成果と課題があげられる。課題については、来年度解決に向けて取り組むことができないため悔いが残るが、山口県 P T A 連合会の研究指定を受け様々な活動を保護者や地域の方々と一緒に行ったことにより成果も上がり思い出に残る1年間となった。

〈成果〉

- ・保護者や地域の方々の協力があり、また県P連より補助金をいただき、昨年度以上に行事や体験学習を実施することができた。
- ・行事を行う際には、保護者や地域の方々に文書や公民館だより（御庄だより）を活用して、積極的に参加を呼びかけた。毎回数人の保護者や地域の方々の参加があった。中でも文化祭や演奏会には、たくさんの方が来校された。
- ・学校や生徒の様子を参観してもらっただけでなく、生徒と一緒に実技や研修などを行う内容を増やしたので、参加者にとっても有意義で楽しい時間だったという感想が聞かれた。
- ・数々の体験学習に取り組むことにより、生徒には課題であった「相手を思いやる心」や「主体的に課題を解決していこうとする力」が少しずつ育ってきた。また、「豊かな心」と「健やかな体」の育成にもつながった。

〈課題〉

- ・行事への保護者や地域の方々の参加者が、毎回ほぼ同じ顔ぶれであった。また、父親の参加者を文化祭以外ではなかなか増やすことができなかった。活動内容や開催日、及び開催時間の工夫をすればもう少し参加しやすかったのかもしれない。
- ・地域との連携のあり方について工夫する必要があった。学校の教育活動への協力依頼だけではなく、防災訓練などを地域と合同で実施できればよかった。
- ・これからも御庄地区で生活し、成長していく子どもたちの健全な育成のために、少しでも地域の教育力を高めたり学校教育への理解を深めたりする取組ができるとよかった。



卒業記念製作の壁画



文化祭で保護者や地域の方々と一緒に